

事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

| | |
|-----|-----|
| 市町名 | 洲本市 |
|-----|-----|

| 課題の類型 1 | 課題の類型 2 | 背景・現状・課題の詳細 | これまでの取組状況 | 左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組 | 本事業で達成する目標 (アウトカム) | 目標の達成度を 測る指標 | 現状の 数 | 単 位 | 本 年 度 の 目 標 値 | 本 年 度 の 実 績 値 | アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等) | 目標等の公表先 |
|------------|---------------------|--|-------------------------------|--|--|------------------------------------|----------|--------|---------------------------------|---------------------------------|--|---|
| ②学校と地域の課題 | 03 学校支援ボランティアの確保・育成 | 多様化する学校業務の中で、教職員の勤務負担の軽減、地域と子どものつながりの強化のため、市内において学校支援ボランティアへの需要が高まっており、それに応える人材の確保が課題となっている。 | 福祉部署及び福祉団体との連携協議、情報交換の機会を持った。 | 学校支援ボランティアの活動に関する周知活動、関係機関等との情報交換の機会を増やす。 | 学校支援ボランティアの活動に関する周知活動、関係機関等との情報交換により、ボランティア人材を広く募集し、登録者を増加させる。 | ボランティア登録者数 | 64 | 人 | 70 | 74 | 03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。コーディネーターが中心となり、地域ボランティアと学校を結びつける本事業は、教職員の多忙化や、学校の働き方改革の観点などから、その需要は年々高まっており、またボランティアにとって子どもや学校とふれあうことがやりがいにつながっていることから、学校、ボランティア双方にとって効果の高い事業である。この活動をより活性化させるため、ボランティアの輪を広げていくことを目標とし、福祉団体等との情報交換や、放課後子ども教室事業との事業間の連携により、ボランティア増加につなげることができた。今後も、ボランティアの輪を広げる活動を継続し、より多様な人材の確保に取り組んでいきたい。 | https://www.city.sumoto.lg.jp//soshiki/34/25657.html |
| ②学校と地域の課題 | 02 青少年の健全育成 | 少子高齢化・核家族化等の社会情勢の変化により、子どもたちと地域のつながりの希薄化、地域の教育力の低下が課題となっている。 | 体験教室(土曜チャレンジ)の開催 | 地域ボランティア等による体験教室(土曜チャレンジ教室)の開催回数・内容を検討し、地域ボランティアと子どもたちの交流を促進させる。 | 地域ボランティア等による体験教室(土曜チャレンジ教室)を開催し、地域の大人と子どもがふれあう機会を創出する。 | 地域ボランティア等による体験教室(土曜チャレンジ教室)の参加延べ人数 | 274 | 人 | 300 | 271 | 02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。市内の放課後子ども教室を支える地域ボランティアが中心となり、子どもたちのために多様な体験活動を行う本事業は、世代を超えた交流を促進する貴重な機会となっています。今年度は、より多くの子どものために楽しんでもらえるよう開催日を増やしましたが、習い事の多様化や、感染症等の流行による急な欠席も重なり、参加人数の増加には繋がらない結果となりました。今後は、より多くの方が参加しやすい開催日や内容を検討するとともに、地域の方々子どもたちの交流がさらに深まる教室を提供できるよう取り組んでいきたい。 | https://www.city.sumoto.lg.jp//soshiki/34/25657.html |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |